

2020年基準 千葉市消費者物価指数の動向（令和5年11月分）

千葉県総合企画部統計課

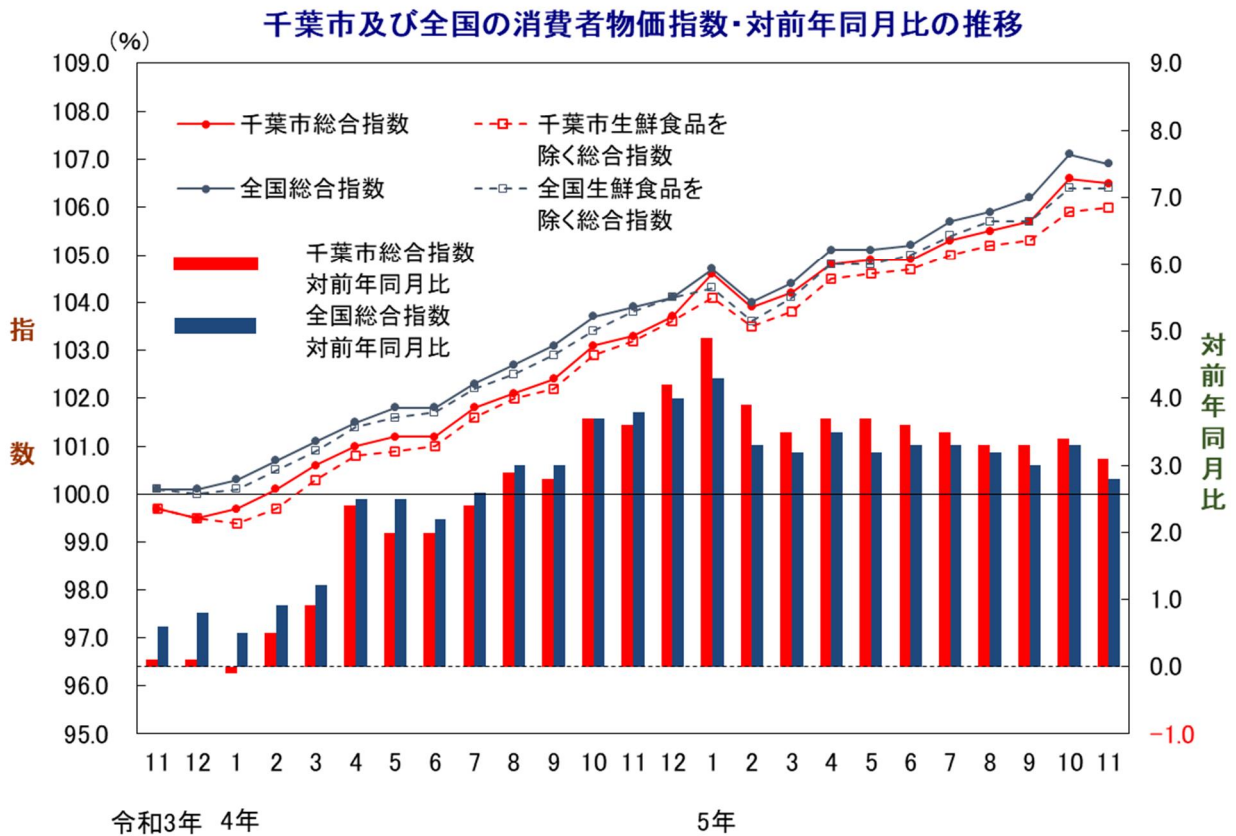
電話：043-223-2231

ファクス：043-227-4458

1 結果の概要

令和5年11月の千葉市消費者物価指数は、総合指数106.5（2020年（令和2年）＝100）となり、前月比は0.1%の下落、前年同月比は3.1%の上昇。

生鮮食品を除く総合指数は106.0となり、前月比は0.1%の上昇、前年同月比は2.7%の上昇。



2 前月からの動き(前月比寄与度)

今月上がった主な費目……………保健医療 (+)0.02

今月下がった主な費目……………食料 (-)0.05

3 10大費目の動き

(1) 食料は 114.3 となり、前月比は 0.2% の下落

内訳をみると、生鮮魚介は(-)2.6%、生鮮野菜は(-)8.5%、生鮮果物は(+)0.9% となった。

(2) 住居は 102.7 となり、前月比は 0.2% の下落

内訳をみると、家賃は同水準、設備修繕・維持は(-)1.2% となった。

(3) 光熱・水道は 107.0 となり、前月比は 0.1% の下落

内訳をみると、電気代は(-)0.8%、ガス代は(+)1.0%、他の光熱は(-)1.2% となった。

上下水道料は同水準となった。

(4) 家具・家事用品は 117.3 となり、前月比は 0.2% の上昇

内訳をみると、家庭用耐久財は(-)0.7%、家事雑貨は(+)0.3%、家事用消耗品は(+)0.7% となった。

(5) 被服及び履物は 105.9 となり、前月比は 0.4% の上昇

内訳をみると、衣料は(+)1.8%、シャツ・セーター・下着類は(+)0.1%、履物類は(-)4.5% となった。

(6) 保健医療は 100.1 となり、前月比は 0.5% の上昇

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は(+)1.0%、保健医療用品・器具は(+)1.0%、

保健医療サービスは同水準となった。

(7) 交通・通信は 96.8 となり、前月比は 0.1% の下落

内訳をみると、交通は(-)0.1%、自動車等関係費は(-)0.2%、通信は(-)0.1% となった。

(8) 教育は 105.0 となり、前月比は同水準

内訳をみると、授業料等は同水準、補習教育も同水準となった。

(9) 教養娯楽は 110.2 となり、前月比は 0.3% の下落

内訳をみると、教養娯楽用耐久財は(+)0.1%、教養娯楽サービスは(-)0.2% となった。

(10) 諸雑費は 104.9 となり、前月比は 0.1% の下落

内訳をみると、理美容サービスは同水準、理美容用品は(-)0.3% となった。

4 千葉市の10大費目指数(2020年=100)

区分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合
令和5年11月	106.5	114.3	102.7	107.0	117.3	105.9	100.1	96.8	105.0	110.2	104.9	106.0
令和5年10月	106.6	114.5	102.9	107.2	117.1	105.5	99.6	96.9	105.0	110.5	105.1	105.9
前月比(%)	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	0.2	0.4	0.5	-0.1	0.0	-0.3	-0.1	0.1
前年同月比(%)	3.1	7.8	0.6	-10.9	7.4	2.7	2.4	3.0	1.8	7.7	1.0	2.7
前月比寄与度		-0.05	-0.04	-0.01	0.01	0.01	0.02	-0.01	0.00	-0.03	-0.01	0.09

(注1) 前月比(前年同月比)(%) = [(当月指数 - 前月(前年同月)指数) ÷ 前月(前年同月)指数] × 100

(注2) 生鮮食品とは、生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物をいう。

(注3) 寄与度とは、それぞれの項目の前月比が総合指数に対して押し上げた大きさを示したものの。

(注4) 指数は、2020年基準の公表値による。